



PATHO News

自治医科大学 病理診断部

No.13

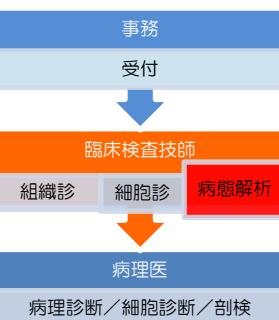
2011. 10. 20

<http://www.iichi.ac.jp/pathology/>

病理診断部の仕事の流れ⑧

< 病態解析部門 病理解剖業務編 その1 >

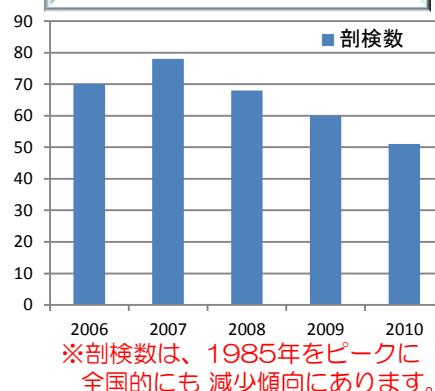
病態解析部門では、電顕（電子顕微鏡）・免疫・遺伝子解析・病理解剖の4つの業務を行っています。今回、**病理解剖業務**について紹介します。



■ 病理解剖業務とは

病理解剖は病気で亡くなった人を対象として、臨床診断の妥当性・治療効果の判定・直接死因の解明などを目的に系統的な解剖を行うものです。病理解剖で得られた診断結果は、病理解剖報告書としてまとめられ、また病理医、臨床医等が集まって行われる臨床病理検討会（CPC）で議論され、疾患の理解を深め適切な診断や治療の参考に活かされます。

■ 当院における剖検数の推移



■ 解剖専任技師の業務

■ 現在、病理解剖は、解剖資格を有した病理医と3人の専任技師が休日や年末年始も含め、365日体制で業務にあたっており、提携する院外の病理解剖も受け入れています。

病理解剖では感染症（結核、AIDS、肝炎など）暴露の危険が常にあり、万全の感染対策をしいて業務に従事しています。また、亡くなられた患者の病態をしっかりと理解した上で、それに順じた病理解剖を行うよう努力しています。



（病理解剖専任技師）

■ 解剖専任技師は病理解剖業務の他、組織診や電顕業務を日常兼務し、さらに以下の業務も行っていきます。

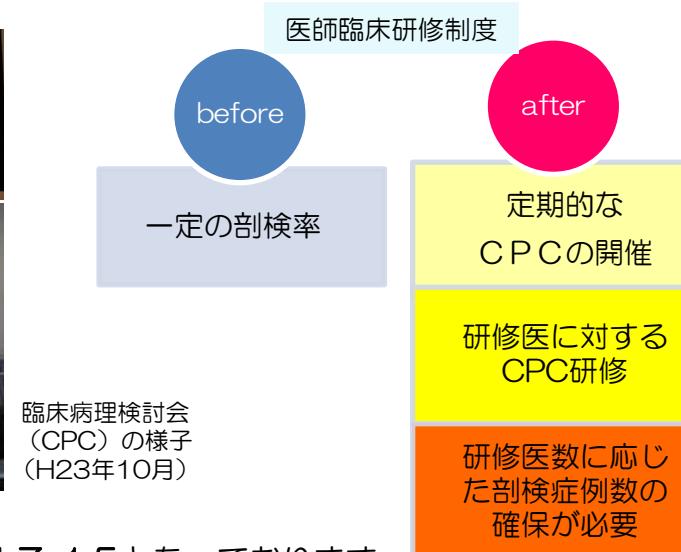
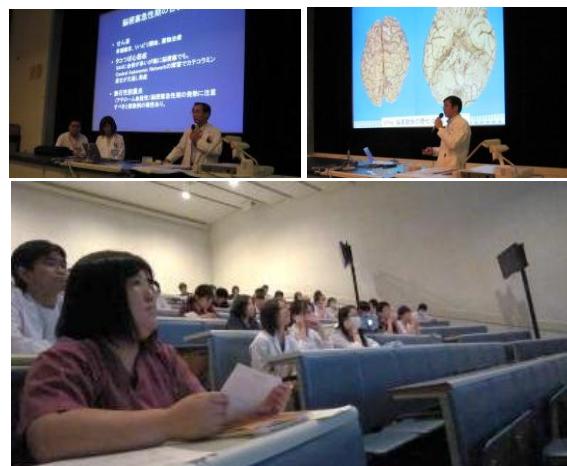
- 剖検肉眼所見検閲・BSL 実習用臓器の準備（毎週水曜日）
- 組織診・剖検臓器の切り出し器具、器材（骨切り機等）や薬品の管理
- < 1階標本室や地下倉庫管理 >
- 剖検・手術例・小物組織臓器の保管と廃棄
- 病理組織診記録・細胞診記録の保管
- 組織診・細胞診・剖検スライドの保管
- 組織（地下倉庫）・剖検パラフィンブロックの保管

■ 解剖業務は、医学生を始め、臨床検査技師学生・放射線技師学生など、毎年多くの学生が実習として見学しており、本学の教育の一環としても大きな役割を果たしています。

■ 医師の臨床研修における病理解剖の役割

厚生労働省では、平成16年度4月に施行された新医師臨床研修制度の趣旨をふまえ、指導医が研修医を指導するための指針・ガイドラインを作成しました。

以前は、主に剖検率維持についての指針内容でしたが、平成16年度以降、CPCの充実などが主となり、全身の病態を解析する病理解剖など病理の果たす役割がさらに増えています。



臨床病理検討会（CPC）の様子（H23年10月）

■ 解剖受付時間

休日も含めて剖検の受付は**8:30~17:15**となっております。時間外の場合は、翌朝の**8:30以降**に改めてご連絡して下さい。

※休日では時間内でも担当者が剖検中の場合、電話が繋がらないことがありますが、その際には少し時間をおいてから再度ご連絡下さいますようお願いいたします。

※連絡先
内線2257
PHS18218

■ 病理診断部 MAP



※剖検は、病院会計にとっては不採算ですが、病院の研修施設・教育施設認定のためにも大きく貢献しています。
※病理・臨床の協力指導体制も重要となります。

参考：日本病理学会HP
<http://isp.umin.ac.jp/>

■ 検体受付および剖検受付時間

8:30 ~ 17:15 (内線2257)

注) 土・日・祝祭日は剖検のみ受付 (内線2257 or PHS18218)

ニュースレター PATHO News 病理診断部 No.13 2011. 10. 20

発行 : 福嶋敬宜(ふくしまのりよし)

編集 : TEAM だったったつ

飛田野清美(ひだのきよみ) 柳田美樹(やなぎたみき)

田村聖月(たむらみづき) 松本祐弥(まつもとゆうや)